

## 5 総合的な学習の時間

### (1) 目標

- ① 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- ② 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- ③ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

### (2) 今年度の重点

- ① 児童の主体性や意欲を引き出す課題設定および指導計画の工夫
- ② 各教科で得られた資質・能力を総合的に活用・発揮することができる学習活動の工夫

### (3) 具体的施策

- ① 各学年で、子どもの発達段階に応じた課題設定の仕方を工夫することにより、課題意識をより高め、意欲的な学習への取り組みを持続できるようにする。
- ② 自分の課題に見通しをもたせ、直接触れる・創作する・調べるなどの体験的な活動を多く取り入れることにより、子どもたちが主体的に課題解決に取り組む態度を養う。
- ③ 粘り強く課題解決に向かうことができるよう、各教科等で育成された資質・能力を総合的に働かせる学習を、探究の過程に位置付ける。
- ④ 学習を通して得られた知恵や経験、「考えるための技法」が効果的に活用される場面を探究の各プロセスに意図的・計画的に設定する。
- ⑤ 子どもたちの多様なニーズに対応できるような地域の教材や学習環境を活用すると共に、校内の学習環境やT T，地域の人材の有効活用に努める。